



## 2. 第5回 オーストラリア学会地域研究会関西例会のお知らせ

日 時： 2007年11月10日(土) 14:00~17:10 \* 非会員の方も参加できます。

場 所： 茨木市西安威 2-1-15 追手門学院大学 オーストラリア研究所

TEL : 072-641-9667 / FAX : 072-643-9476 E-mail : cas@jimu.otemon.ac.jp

会場はホームページでご確認ください。 <http://www.otemon.ac.jp/cas/>

発 表：「企業の ISO14001 取得に対する外国市場の影響—日豪に焦点をあてて」

西谷公孝 (神戸大学大学院 博士課程)

「オーストラリアの幼児教育にみるチーム支援」 平野知見 (常磐会学園大学)

交 通： JR 茨木駅西口南へ7分 マイカル茨木横、または阪急茨木市駅西口前から追手門学院  
スクールバス (無料) 13:30 発。ほかに阪急バスもあります。

※ 関西例会に関しては、発表者が大学院生の場合に限り、居住地と例会会場間の交通費に関し、  
主要都市間の交通費実費の半額を、1万円を極度額として、補助します。

要 旨：

西谷公孝 (神戸大学大学院 博士課程)

「企業の ISO14001 取得に対する外国市場の影響—日豪に焦点をあてて」

ISO14001 とは環境経営システムの国際規格のことである。現在多くの企業が ISO14001 の認証を取得しているが外国顧客はそれに影響を及ぼす大きな要因の1つである。しかし、一概に外国顧客と言っても国によって彼らの環境効用、環境プレッシャーの大きさには違いがあり認証取得への影響の大きさは様々であろう。そこで本研究では国別のマクロデータを使い、取引先としてどのような国が ISO14001 取得に影響を及ぼしているかについての分析を行う。なかでも日本、豪州は環境対策に積極的な国であるため、特にこれらの国に注目した考察を行う。

平野知見 (常磐会学園大学) 「オーストラリアの幼児教育にみるチーム支援」

多様な人種で構成されたオーストラリアにおける保育施設では、1994年に“Quality Improvement and Accreditation (質の改善と認可制度)”が導入された。これにより、全てのスタッフや保護者がチームの一員として尊重され、協同で支援することが基本となり、多岐にわたり項目が設定されている。本発表では特にオーストラリアの『ペアレント・インボルブメント』がどのような保育支援につながっているかを明らかにする。

3. 2007年度総会・全国研究大会が6月9日(土)と10日(日)の両日、大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立民族学博物館で開催されました。多大なご協力をいただきました国立民族学博物館の松山利夫会員、及び同博物館のスタッフの方々、関係各位に厚くお礼を申し上げます。

## 4. 総会報告 (2007年6月10日開催)

### (1) 2006年度事業報告・決算報告

下記の事業報告が決算報告 (3~4頁参照) 及び監査報告と共に承認されました。

① 『オーストラリア研究』第19号 (2006年12月)、第20号 (2007年3月) を発行。

② 『オーストラリア学会会報』第48号、第49号、第50号を発行。

③ 2006年日豪交流年記念シンポジウム「東アジアの経済統合と日豪関係」(2006年9月) を豪日交流基金、オーストラリア大使館、名古屋商科大学大学院の協力により名古屋商科大学大学院伏見キャンパスにて開催。

- ④ 2006年日豪交流年記念「オーストラリア理解講座」(2006年9～12月)を豪日交流基金、追手門学院大学オーストラリア研究所の協力、および国際交流基金、関西日豪協会、大阪日豪協会、大学コンソーシアム大阪、カンタス航空の後援によりJR大阪駅前ハービスPLAZAにて開催。
- ⑤ 第18回全国研究大会(2007年6月)を国立民族学博物館にて開催。
- ⑥ 地域研究会(関西)(第3回:2006年11月、第4回:2007年3月)を追手門学院大学において開催。

(2) 2007年度事業計画・予算案

下記の事業計画が予算案(5頁参照)と共に承認されました。

- ① 『オーストラリア研究』第21号(2008年3月)を発行する。(会報50号参照)
- ② 『オーストラリア学会会報』(年3回程度)を発行する。
- ③ 第19回全国研究大会(2008年6月)準備委員会を組織し、関西地方にて開催する。
- ④ 地域研究会関東/関西例会(1頁1. および2頁2. 参照)を開催する。

(3) 豪日交流基金図書館閉鎖および追手門学院大学オーストラリア図書館開設経緯説明

(4) オーストラリア日本研究学会JSAAとの関係

JSAAとの共同事業について打診があり協議されましたが、相互の学会で研究対象が異なるため、学会としての共同事業はとくに企画しないことで合意した旨報告されました。

(5) 第7期理事会(2007年12月-2010年12月)役員案

役員改選が提案され、以下の役員が承認されました。(50音順)

有満保江、安藤充、岡崎一浩、加賀爪優、加藤めぐみ、鎌田真弓、小林信一、鈴木雄雅、関根政美、田澤佳昭、橋本雄太郎、藤川隆男、松繁寿和、南出眞助 [以上、重任]  
飯笹佐代子、川口章、塩原良和、永野隆行、村上雄一、安田純子 [以上、新任]

5. 第6期第6回理事会報告(2007年6月9日、10日)

4. の総会議事以外に、下記の事項につき承認されました。

- (1) 会報印刷・発送業務分担および経費の検討。
- (2) 未収会費の徴収および、その会計処理手続きの確認。
- (3) 今後の理事会のあり方について、若手を登用して組織の若返りを順次はかり、熟練が若手を育成しつつ、公正・円滑な学会運営を行う組織としていくことを確認。
- (4) 新規入会4名、退会会員3名を承認する。

出席者=関根政美(代表理事)、有満保江、安藤充、加賀爪優、加藤めぐみ、鎌田真弓、小林信一、竹田いさみ、田澤佳昭、橋本雄太郎、藤川隆男、松繁寿和、南出眞助(以上理事)、岡崎一浩(以上監事)

2004年12月-2007年12月役員一覧

[代表理事] 関根政美

[副代表理事] 鎌田真弓

[総務担当理事] 橋本雄太郎

[会計担当理事] 安藤 充

[全国研究大会担当理事] 有満保江、南出眞助

[研究企画担当理事] 加賀爪 優、竹田いさみ、松繁寿和

[学会誌担当理事] 小林信一、加藤めぐみ、藤川隆男、有満保江\*

[会報担当理事] 鈴木雄雅、田澤佳昭

[地域担当理事] 南出眞助\*

[監事] 谷内 達、岡崎一浩

(\*2005年6月の理事会において変更いたしました。)

# オーストラリア学会財務諸表

## 貸借対照表

平成19年3月31日現在

科目	当年度	前年度	増減
<b>I. 資産</b>			
1. 流動資産			
現金	2,758	3,027	△ 269
郵便貯金口座	804,681	863,162	△ 58,481
郵便振替口座	165,745	508,298	△ 342,553
未収金	125,530	0	125,530
流動資産合計	1,098,714	1,374,487	△ 275,773
資産合計	1,098,714	1,374,487	△ 275,773
<b>II. 負債の部</b>			
1. 流動負債			
前受会費収入	15,000	10,000	5,000
流動負債合計	15,000	10,000	5,000
負債の部合計	15,000	10,000	5,000
<b>III. 正味財産の部</b>			
1. 一般正味財産			
正味財産合計	1,083,714	1,364,487	△ 280,773
負債及び正味財産合計	1,098,714	1,374,487	△ 275,773

(発生ベース)

## 収支決算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

科目	予算額	決算額	差異
<b>I. 事業活動収支の部</b>			
1. 事業活動収入			
①基本財産運用益	40	179	△ 139
②受取会費・入会金	840,000	1,050,000	△ 210,000
③雑誌販売収入	10,000	0	10,000
④助成金収入	0	125,530	△ 125,530
経常収益計	850,040	1,175,709	△ 325,669
2. 事業活動支出			
①事業費			
大会及び研究会旅費補助等	150,000	151,290	△ 1,290
記念事業特別会計繰出金	100,000	100,000	0
調査事業費	0	125,530	△ 125,530
事業支出計	250,000	376,820	△ 126,820
②管理費			
印刷費	720,000	779,700	△ 59,700
会議費	150,000	71,593	78,407
消耗品費	20,000	15,859	4,141
通信費	150,000	190,290	△ 40,290
謝金	30,000	22,220	7,780
雑費	10,000	0	10,000
管理支出計	1,080,000	1,079,662	338
事業活動支出計	1,330,000	1,456,482	△ 126,482
事業活動収支差額	△ 479,960	△ 280,773	△ 199,187
<b>II. 投資活動収支の部</b>			
0	0	0	0
<b>III. 財務活動収支の部</b>			
0	0	0	0
<b>IV. 予備費支出の部</b>			
△ 300,000	0	△ 300,000	
当期収支差額	△ 779,960	△ 280,773	△ 499,187
前期繰越収支差額	1,364,487	1,364,487	0
次期繰越収支差額	584,527	1,083,714	△ 499,187

(発生ベース)

## 正味財産増減計算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

科目	当年度	前年度	増減
<b>I. 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	179	0	179
②受取会費・入会金	1,050,000	630,000	420,000
③雑誌販売収入	0	5,000	△ 5,000
④助成金収入	125,530	0	125,530
経常収益計	1,175,709	635,000	540,709
(2) 経常費用			
①事業費			
大会及び研究会旅費補助等	151,290	56,000	95,290
記念事業特別会計繰出金	100,000	0	100,000
調査事業費	125,530	0	125,530
事業費計	376,820	56,000	320,820
②管理費			
印刷費	779,700	49,300	730,400
会議費	71,593	60,948	10,645
消耗品費	15,859	4,868	10,991
通信費	190,290	49,480	140,810
謝金	22,220	16,000	6,220
管理費計	1,079,662	180,596	899,066
経常費用計	1,456,482	236,596	1,219,886
当期経常増減額	△ 280,773	398,404	△ 679,177
2. 経常外増減の部			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 280,773	398,404	△ 679,177
一般正味財産期首残高	1,364,487	966,083	398,404
一般正味財産期末残高	1,083,714	1,364,487	△ 280,773
<b>II. 正味財産期末残高</b>	1,083,714	1,364,487	△ 280,773

(発生ベース)

## 特別会計

### 日豪交流年記念事業特別会計

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

科目	当年度	前年度	増減
<b>収入</b>			
助成金収入	2,133,800		
一般会計繰入金	100,000		
		2,233,800	
<b>支出</b>			
交通費・宿泊費	647,626		
謝金	642,937		
会場費	210,000		
印刷費	432,000		
通信費	49,840		
レセプション	200,000		
その他	51,397		
収支差額	2,233,800		0

(発生かつ現金ベース)

## キャッシュ・フロー計算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

科目	当年度	前年度	増減
<b>I. 事業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1. 事業活動収入			
①基本財産運用収入			
受取利息	179	0	179
②会費・入会金収入	1,055,000	640,000	415,000
③雑誌販売収入	0	5,000	△ 5,000
事業活動収入計	1,055,179	645,000	410,179
2. 事業活動支出			
①事業費			
大会及び研究会旅費補助等	151,290	56,000	95,290
記念事業特別会計繰出金	100,000	0	100,000
調査事業費	125,530	0	125,530
事業費計	376,820	56,000	320,820
②管理費			
印刷費	779,700	49,300	730,400
会議費	71,593	60,948	10,645
消耗品費	15,859	4,868	10,991
通信費	190,290	49,480	140,810
謝金	22,220	16,000	6,220
管理費計	1,079,662	180,596	899,066
事業活動支出計	1,456,482	236,596	1,219,886
事業活動によるキャッシュ・フロー	△ 401,303	408,404	△ 809,707
<b>II. 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
0	0	0	0
<b>III. 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
0	0	0	0
<b>IV. 現金及び現金同等物の増減額</b>	△ 401,303	408,404	△ 809,707
<b>V. 現金及び現金同等物の期首残高</b>	1,374,487	966,083	408,404
<b>VI. 現金及び現金同等物の期末残高</b>	973,184	1,374,487	△ 275,773

(注)VIの973,184円は2,758円、804,681円及び165,745円の合計。

(現金ベース)

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 会計処理の基準

平成15年3月に公益法人会計基準検討会から公益法人会計基準が公表されたことにより、オーストラリア学会においても平成18年3月年度から、公益法人会計基準に準拠した会計報告をすることとしている。

#### (2) 棚卸資産の評価

棚卸資産については、金額的に重要性がないために評価をしないものとみなした。

#### (3) 未収会費の評価

未収会費については、決算期以降かつ財務諸表作成時に以前に回収されたものについてのみ資産に計上するものとする。

#### (4) 会費免除者に対する収入計上

プロフェッショナル・サービスの提供者に対して会費免除をした場合には、みなし会費収入とみなし謝金支出との同額の両建経理とした。

## 財産目録

財産目録は、貸借対照表の資産の部と同一であるために作成は省略した。

## 監査報告書

1ページから4ページまでの財務諸表及び注記を監査した結果、適正かつ正確であることを報告します。

平成19年6月10日

岡崎一浩

収支予算書  
平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

科目	予算額	前年度	差異
I. 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①基本財産運用益	600	40	560
②受取会費・入会金	900,000	840,000	60,000
③雑誌販売収入	5,000	10,000	△ 5,000
経常収益計	905,600	850,040	55,560
2. 事業活動支出			
①事業費			
大会及び研究会旅費補助等 特別会計繰出	150,000	150,000	0
事業支出計	100,000	100,000	0
②管理費			
印刷費	950,000	720,000	230,000
会議費	150,000	150,000	0
消耗品費	20,000	20,000	0
通信費	190,000	150,000	40,000
謝金	30,000	30,000	0
雑費	10,000	10,000	0
管理支出計	1,350,000	1,080,000	270,000
事業活動支出計	1,600,000	1,330,000	270,000
事業活動収支差額	△ 694,400	△ 479,960	△ 214,440
II. 投資活動収支の部			
III. 財務活動収支の部			
IV. 予備費支出の部			
	△ 200,000	△ 300,000	100,000
当期収支差額	△ 894,400	△ 779,960	△ 114,440
前期繰越収支差額	1,083,714	1,374,487	△ 290,773
次期繰越収支差額	189,314	594,527	△ 405,213

(発生ベース)

オーストラリア学会財務諸表は、学会 Web ページでも公開しています。

## 6. 大会報告者（海外在住者）への交通費助成のお知らせ

第 13 回全国研究大会から、報告される会員には海外在住者に限り、交通費助成（一律 5 万円）を行うことになっております（2001 年 12 月 18 日第 5 期 1 回理事会決定）。発表申込の際に、その旨明記してください。12 月開催予定の理事会で申請案件を審議、決定いたします。

## 7. 事務局からのお知らせ

### 《学会誌の最新号が届かない場合》

学会誌の最新号、『オーストラリア研究』第 20 号（2007 年 3 月）が届いていない方は事務局へご連絡下さい。また、連絡先変更の場合は、お手数でも必ず下記事務局宛にご連絡下さい。

## 全国大会研究発表の募集

オーストラリア学会 2008 年度総会・全国研究大会は 6 月 7 日(土)、8 日(日)の両日、**関西地方**で開催される予定です。(詳細は会報次号 [2 月発行予定] でお知らせいたします。)

個別報告の発表を希望される会員は、氏名・所属・題目を明記の上、**11 月末日まで**に、学会事務局あて書面（メール可）にてお申し込みください（200 字程度の要旨を添付してください）。

なお、個別報告は 8 日(日) 午前中を予定しております。

**2005 年から個別報告の申し込み時期が早くなっております。ご注意ください。**

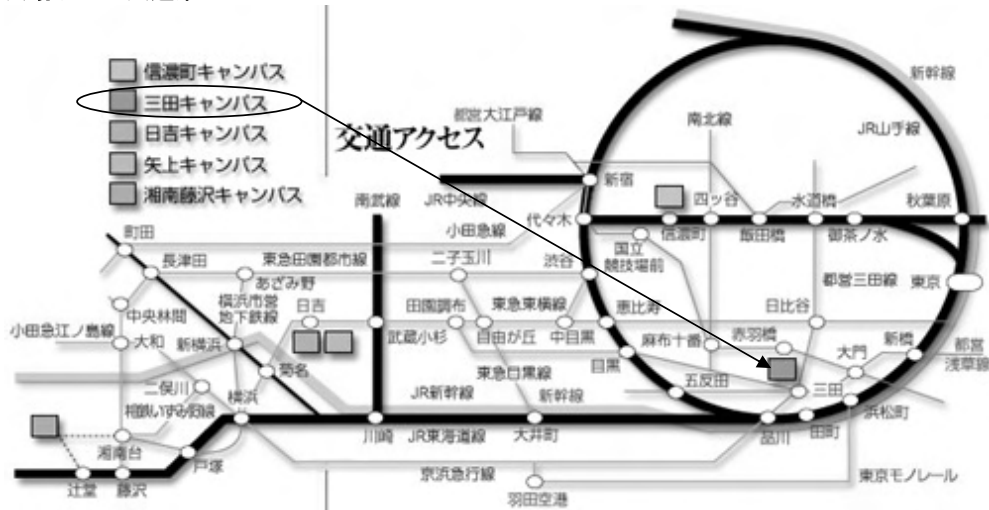
〒192-8508 東京都八王子市宮下町 476 杏林大学総合政策学部 橋本雄太郎研究室気付  
オーストラリア学会事務局 TEL: 042-691-0011(代) / FAX: 042-691-5899  
E-mail: hashimotobunch@mri.biglobe.ne.jp

### 2005 年 4 月より事務局が移転しましたので、ご注意ください

会費振込先: 00190-3-157063 加入口座名: オーストラリア学会  
※本会報は学会記録以外に、会員のご意見やご要望を掲載します。意見、著書、新刊、訳書、投稿など、事務局または会報担当理事までお送りください。[紙面の制約上、速やかに掲載できない場合がありますことをご了承ください。](宛先: 鈴木 HAF00025@nifty.ne.jp または田澤 ytazawa@dohto.ac.jp)  
[編集担当: 田澤佳昭 (道都大学)]

第1回 オーストラリア学会地域研究会関東例会／慶應義塾大学 21世紀 COE 共催  
「アジア太平洋の安全保障—日豪の役割」セミナー（2007年10月7日）

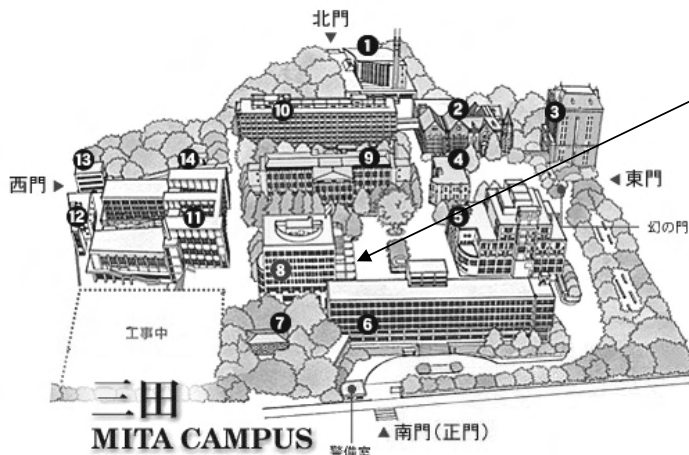
会場までの交通案内



会場周辺図



- ・JR 山手線、京浜東北線  
田町駅下車（徒歩約8分）
- ・都営地下鉄浅草線
- ・都営地下鉄三田線  
三田駅下車（徒歩約7分）
- ・都営地下鉄大江戸線  
赤羽橋駅下車（徒歩約8分）
- ※ 東京～田町：約10分
- ※ 上野～田町：約20分
- ※ 渋谷～田町：約15分
- ※ 水道橋～三田：約15分



第3校舎（大学院棟）

会場：1階 313教室

\* 日曜日には東門等は閉まります。  
出入りは正門のみとなります。  
ご注意ください。

※図は慶應大学 HP (<http://www.mediacom.keio.ac.jp/access/index.html>) より引用させていただきました。